

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大牟田市立平原小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒836-0813
大牟田市平原町333

E-mail : hirabaru-ed@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : http://www.e-net21.city/omuta.fukuoka.jp/hirabaru-es/

児童生徒数：男子 73 名 女子 68 名 合計 141 名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（消費者教育、福祉教育、地域学習）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 全校での活動

- 公正で持続可能な社会の実現のための、よりよい消費者市民の育成をめざした授業実践（消費者教育）
 - ・消費者教育における各学年段階に応じためざす子どもの姿を明らかにし、家庭科、社会科、生活科、総合的な学習の時間等で、よりよい消費者市民の育成をめざした授業実践を行った。
- 中国大同市第十八小学校との交流（国際理解）
 - ・中国大同市第十八小学校の子ども達と、正月と春節のお祝いのメッセージをお互いに送り合い、交流を深めた。
 - ・大同市からの視察訪問の方々を中国語の歌で迎え、給食を一緒に食べたり、歌や合奏を披露したりして、交流を行った。

2 各学年の主な活動

- 1年：地域のお年寄りや幼稚園、保育園児との交流活動（福祉）
動物や自然とのふれあい活動（環境）
- 2年：プールのヤゴを川へ放流し、生命について考える活動（環境）
地域の方々との野菜やさつまいもの栽培活動（環境）
- 3年：お年寄りのために何ができるかを考え、福祉施設や独居老人宅を訪問して行う交流活動（福祉）
- 4年：市役所環境業務課の方の話や環境施設見学をもとに、自分達にできるリサイクル活動について考える活動（環境）
- 5年：生活排水による川の汚れなどを調べ、身の回りの自然環境を守るために自分たちができることを考え、行動・発信する活動（環境）
- 6年：地域にある近代化産業遺産の見学、世界遺産についての調べ学習を通して、先人が残した遺産の大切さについて考える学習（世界遺産）
アートマイルの活動を通して、ケニヤの友達とお互いの国や生活の様子、自分たちの夢などについて理解し合う交流活動（国際理解）

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常 of 授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）